

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

平成31年(ワ)第3465号国家賠償請求事件

原告 大江千東ほか9名

被告 国

証拠説明書10 (甲A号証)

2020年12月2日

東京地方裁判所 民事第16部乙合議B係御中

原告ら訴訟代理人 弁護士 上 杉 崇 子

同 弁護士 寺 原 真希子

他27名

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A243	泉久雄『親族法』 (有斐閣, 1997) 1 26頁	写	H9・5月	泉久雄	わが国では、長く、男子のみが、正当な理由がなくとも自由に離婚できるものとされていたが、明治6年の太政官布告136号によって妻の側から離婚請求が認められ、明治民法によって離婚には正当な理由が必要とされるに至ったこと(124頁)  明治民法起草者が、協議離婚制度を採用すべき根拠として、婚姻の目的が「心の和合」であると指摘し生殖に言及していない事実(126頁)
甲A244	有地亨『新版家族法 概論〔補訂版〕』2 68頁	写	2005年(h17)4 月	有地亨	明治民法起草者の富井政章が、諸外国の離婚法にない協議離婚を明治民法に規定した理由について、婚姻は夫婦の「心の和合」であることを指摘し、生殖に触れていない事実。
甲A245	国立社会保障・人口 問題研究所「厚生省 の有料多子家庭表彰 並附帯調査」人口問 題研究1巻3号(1 940-6)73頁	写	1940年(s15)	国立社会 保障・人 口問題研 究所	1940年(昭和15年)に厚生省社会局が「優良多子家庭」の表彰・調査を開始した事実。優良多子家庭表彰要項で「父母を同じうする満6歳以上の嫡出の子女10人以上を自ら育成したること」が表彰の条件とされていたこと。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A246	衆議院 法務委員会の 会議録議事情報一 覧	写	2018年11月24 日から2020年 11月13日	衆議院 法務委員 会	<p>本書証は、第198回の国会（2019年春の通常国会）から第203回の国会（2020年秋の臨時国会）までの法務委員会内でどのような議題があがったかの案件を記した一覧表である。</p> <p>議員立法で提出された法案を法務委員会で議論する場合には、「会議に付す案件」として合意されなければ、議論は開始されない。</p> <p>民法改正案（甲A141）は第198回国会で提出されたところ、一覧をみても、民法改正案（甲A141）が会議に付す案件としては記されていない。</p> <p>（もって、第198回の通常国会から、第203回の臨時国会までに開催された法務委員会内にて、一度も民法改正法案が検討・議論されていないことを証明する）。</p>
甲A247	「珍しくない、弁護士によるSOGIハラ」 季刊刑事弁護89号 34頁	写	2017年(h29)	現代人文 社	<p>法律家においても、同性愛に対する誤った偏見や嘲笑の対象とする認識が根強く存在してきた事実</p>
甲A248	長谷部恭男＝木村草太「〔座談会〕憲法を使いこなす」 Law and practice 9号（2015年）19頁	写	2015年(h27)	長谷部恭 男ほか	<p>長谷部恭男教授が同性どうしの親密な関係に対して憲法上の保護が及ぶべきことを示唆している事実。</p>
甲A249	河口和也意見書	写	2020年	河口和也	<p>欧米社会において、同性愛等が宗教上、法律上抑圧された状態から、開明的な性科学や当事者の運動、諸科学の研究の進展によって人権の問題ととらえられるようになり、現在では、国連を中心に性的指向・性自認による差別や人権侵害を根絶することが世界的な課題とされている事実。</p>
甲A250	ハフポストネット ニュース記事「国勢調査の男女欄。二択しかないの？総務省に聞いた」	写	R2.9.28	井上 未 雪	<p>2020年に実施された国勢調査において同性カップルは互いに「配偶者」と記載しても「他の親族」と集計され婚姻関係にある者として数えられないこと</p>

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本写しの別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A251	東京新聞記事「同性愛が広がれば「足立区が滅びる」区議は議会でもんな発言した?【発言要旨】」	写	R2.10.5	東京新聞 TOKYO Web	足立区議会議員白石正輝区議が2020年9月25日の足立区議会定例一般質問においてLGBTなど性的少数者に関して同性愛が広がれば「足立区は滅びる」との趣旨の発言をした事実
甲A252	毎日新聞記事「LGBT巡り“足立区が滅ぶ”発言 炎上の自民長老議員の主張と事実誤認」	写	R2.10.7	毎日新聞	白石議員が甲A251の発言をした後に、毎日新聞の記者が白石議員に対してインタビューを行い、その様子が書かれたのが本書証である。  白石議員はLGBTについて「基本的には個人の生き方だから、民法の中に(想定されて)ない生き方だからね。一般的でない生き方を特別に擁護する必要はないでしょう(4頁)」  「(ひ孫が当事者だとしても)それは生き方だから。自分が選んだ道だから、悲しいと思うような人生を選んだんだからしょうがない(5頁)」  「LとGは楽しいからと選んでいると思いますよ(5頁)」  などと発言している事実。
甲A253	朝日新聞デジタルニュース記事「「同性愛、LINEで暴露され死亡」遺族、一橋大を提訴」	写	H28.8.5	朝日新聞 デジタル	2015年4月に一橋大法科大学院に在学していた男性が同級生の男性に恋愛感情があることを伝えたところ、同級生が男性を含めた友人7人のLINEグループにおいて男性が同性愛者であることを明かし、男性がその後同年8月に大学内で投身自殺した事実
甲A254	ヤフーニュース 2019年2月14日 「同性婚訴訟、2月14日に全国一斉提訴へ」に添付されたヤフーコメント	写	H31.2.14	ヤフー ニュース	2019年2月14日に本件提訴がなされた時に、下記のようなコメントがヤフーに投稿され、社会において根強い偏見が存在していることが露わになったという事実。  ・個人的には、大変気持ち悪いので、何処かの島に隔離してほしい(3頁)。 ・頭おかしい方々です(3頁)。 ・できれば、日陰者として暮らして下さいませ(4頁)。 ・申し訳ないけどこの話題はとても苦手。気持ちに正直な言葉にすると、気持ち悪い(5頁)。 ・生物学的に非常に気持ちが悪い。隣にいたら軽蔑するし、近寄らないでほしい。ひっそりと生きてください。キモい(6頁)。 ・同性愛者はやっぱり病気だなあと、思う(7頁)。 ・世に出てこないでください(8頁)。 ・気持ち悪い。子供に悪影響 そんなカップルが増えたら国が成り立たない。子供ができないから(9頁)。 ・気持ち悪いので見たくない自由を、保障して欲しい(10頁)。

[リンクはご自由にお貼りください]

[有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください]

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A255	ハフポストネット ニュース記事「春日 部市議「LGBTへ の差別は存在しな い」	写	R2. 10. 29	國崎万智	埼玉県春日部市議会議員井上英治議員が2020年9月15日の春日部市議会一般質問において「LGBTなんかやる必要は全くない」などの発言をした事実
甲A256	泉徳治『一步前へ出 る司法』68頁～7 3頁	写	H29. 1. 30	泉徳治	本書証は、元最高裁判事である泉徳治氏に、司法の在り方、違憲判断の在り方などについてインタビューしている著書である。  アメリカ連邦最高裁は、1938年にカロリーヌ判決を言い渡ししており、同判決を言い渡したストーン判事は判決に脚注4（フットノート4）をつけている。脚注4は、立法府に裁量を認めることができない例を付記しており、脚注によれば、特定の宗教的、民族的、人種的少数者に向けられた立法の審査については立法府の裁量を認めることができないとしている。なぜならば、少数者に対する偏見のため民主政による政治過程による保護が働きにくいからである（71頁）。
甲A257	平成16年11月1 7日の参議院憲法調 査会における北川議 員の質疑	写	H16. 11. 17	北川イッ セイ議員 及び赤坂 参考人	北川イッセイ議員が「同性同士が共に生活をする…を婚姻ということに認めることについては、それこそ人類の生態系を侵す」と考えているということ（18～19頁）。
甲A258	平成27年2月18 日の参議院本会議に おける松田議員及び 安倍総理大臣の質疑	写	H27. 2. 18	松田議員 及び安倍 総理大臣	参議院本会議において松田議員が同性婚を認めることがありうるかを安倍総理大臣に質問したところ、安倍総理大臣が「同性婚を認めるために憲法改正を検討すべきか否かは、我が国の家族の在り方の根幹に関わる問題であり、極めて慎重な検討を要する」と答弁していること（27頁）。
甲A259	平成27年4月1日 の参議院予算委員会 における福島みずほ 議員と安倍総理大臣 の質疑	写	H27. 4. 1	福島議員 及び安倍 総理大臣	参議院予算委員会において、福島議員が、同性婚について認めるか否かを尋ねたところ、安倍総理大臣は、「家族の在り方にも関する問題で」あることから「慎重に議論をしていくべき課題で」と答弁していること（42頁）。
甲A260	平成30年6月8日 の衆議院法務委員会 における松田功議員 と上川法務大臣の質 疑	写	H30. 6. 8	松田議員 及び上川 法務大臣	参議院法務委員会において、松田議員が、同性パートナーについて法律婚を認めることがありうるかを尋ねたところ、上川法務大臣は、家族の在り方にかかわる問題であることから、幅広い検討が必要になると述べていること（8頁）。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A261	平成30年7月5日の参議院法務委員会における若松謙維議員と上川法務大臣の質疑	写	H30.7.5	若松議員 及び上川 法務大臣	参議院法務委員会において、若松議員が、上川法務大臣に対して、同性パートナーについて法律婚以外の法的保護についてどのように考えるかを尋ねたところ、上川法務大臣は、同性パートナーの法律上の取り扱いを含む家族の法制的在り方に関しては、今後の国民意識の変化、社会情勢の変化等も踏まえながら、必要な検討をしていきたいと答えていること(4頁)。
甲A262	平成31年3月22日の参議院予算委員会における福島みずほ議員と山下法務大臣の質疑	写	H31・3・22	福島議員 及び山下 法務大臣	参議院予算委員会において、福島議員が山下法務大臣に対して、同性愛者らが裁判を起こした事、同性婚を導入するつもりがあるなどを尋ねたところ、山下大臣は、同性婚の導入については、家族の在り方の根幹に関する事から、慎重な検討が必要であると答えていること(15頁)。
甲A263	令和元年10月23日の衆議院予算委員会における山尾しおり議員と河井法務大臣の質疑	写	R1.10.22	山尾議員 及び河井 法務大臣	参議院予算委員会において、山尾議員が河井法務大臣に対して、同性婚の導入をする予定があるか、検討をしているとしても、検討時期はいつになるかを繰り返し聞いても、河井大臣は、答弁をはぐらかし、検討時期さえも応えようとしないうこと(10~11頁)。
甲A264	令和2年1月23日の衆議院本会議における志位和夫議員と安倍総理大臣の発言	写	R2.1.23	志位議員 及び安倍 総理大臣	衆議院本会議において、志位議員が安倍総理大臣に対して、同性婚を導入する予定があるかを尋ねたところ、安倍総理大臣は、同性婚については家族の在り方の根幹に関する問題であり、極めて慎重な検討が必要であると答えていること(16頁)。
甲A265	令和元年10月7日の衆議院本会議における枝野幸男議員の発言	写	R1.10.7	枝野議員	衆議院本会議において、枝野議員が、同性婚を認める民法改正法案を提出していること、与党に対して、同法案を検討せずにたなごらしにすることはないと信じていると発言していること(5頁)。  (もって、与党は、民法改正法案を検討せずに、たなごらしにしていることを証明する。)
甲A266	西尾市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	2019年9月1日(要綱等については施行/導入日。以下同様)	愛知県西尾市	愛知県西尾市において同性パートナーシップ制度を導入した事
甲A267	長崎市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R1.9.2	長崎県長崎市	長崎市において同性パートナーシップ制度を導入した事

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A268	三田市パートナーシップ宣誓制度実施要綱	写し	R1. 10. 11	兵庫県三田市	三田市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A269	交野市ホームページ	写し	R1. 11. 22	大阪府交野市	交野市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A270	横浜市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R1. 12. 2	神奈川県横浜市	横浜市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A271	大東市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R1. 12. 4	大阪府大東市	大東市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A272	鎌倉市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R1. 12. 4	神奈川県鎌倉市	鎌倉市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A273	三豊市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 1. 1	香川県三豊市	三豊市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A274	尼崎市パートナーシップの宣誓に関する要綱	写し	R2. 1. 6	兵庫県尼崎市	尼崎市において同性パートナーシップ制度を導入したこと

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A275	大阪府パートナーシップの宣誓に関する要綱	写し	R2. 1. 22	大阪府	大阪府において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A276	さいたま市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 4. 1	埼玉県さいたま市	さいたま市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A277	港区みなとマリージュ制度に関する要綱	写し	R2. 4. 1	東京都港区	港区において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A278	文京区パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 4. 1	東京都文京区	文京区において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A279	相模原市ホームページ	写し	R2. 4. 1	神奈川県相模原市	相模原市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A280	逗子市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 4. 1	神奈川県逗子市	逗子市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A281	新潟市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 4. 1	新潟県新潟市	新潟市において同性パートナーシップ制度を導入したこと

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A282	浜松市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.4.1	静岡県浜松市	浜松市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A283	大和郡山市のホームページ	写し	R2.4.1	奈良県大和郡山市	大和郡山市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A284	奈良市パートナーシップ宣誓制度実施要綱	写し	R2.4.1	奈良県奈良市	奈良市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A285	高松市パートナーシップの宣誓に関する要綱	写し	R2.4.1	香川県高松市	高松市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A286	徳島市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.4.1	徳島県徳島市	徳島市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A287	古賀市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.4.1	福岡県古賀市	古賀市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A288	木城町パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.4.1	宮崎県木城町	木城町において同性パートナーシップ制度を導入したこと



【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A289	豊明市パートナーシップの宣誓に関する要綱	写し	R2. 5. 1	愛知県豊明市	豊明市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A290	川越市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 5. 1	埼玉県川越市	川越市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A291	伊丹市同性パートナーシップ宣誓制度実施要綱	写し	R2. 5. 15	兵庫県伊丹市	伊丹市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A292	芦屋市パートナーシップ宣誓制度実施要綱	写し	R2. 5. 17	兵庫県芦屋市	芦屋市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A293	岡山市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 7. 1	岡山県岡山市	岡山市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A294	川崎市パートナーシップの宣誓に関する要綱	写し	R2. 7. 1	神奈川県川崎市	川崎市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A295	葉山町パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2. 7. 1	神奈川県葉山町	葉山町において同性パートナーシップ制度を導入したこと

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A296	いなべ市ホームページ	写し	R2.7.1	三重県いなべ市	いなべ市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A297	富田林市パートナーシップの宣誓の証明に関する要綱	写し	R2.7.1	大阪府富田林市	富田林市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A298	川西市パートナーシップ宣誓制度実施要綱	写し	R2.8.1	兵庫県加西市	川西市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A299	京都市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.9.1	京都府京都市	京都市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A300	貝塚市パートナーシップの宣誓の取扱い等に関する要綱	写し	R2.9.1	大阪府貝塚市	貝塚市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A301	坂戸市パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱	写し	R2.10.1	埼玉県坂戸市	坂戸市において同性パートナーシップ制度を導入したこと
甲A302	朝日新聞記事	写し	R2.2.1	株式会社朝日新聞社	吉村大阪府知事において、同府におけるパートナーシップ制度の導入に関して、「同性同士も婚姻できるよう本来は国がきちんと整備するべきだ」とのコメントを行ったこと

[リンクはご自由にお貼りください]

[有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください]

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A303	渋谷区と認定NPO法人虹色ダイバーシティによる「全国パートナーシップ制度共同調査」に関する定期実施報告	写し	R2. 7. 14	東京都渋谷区	左記報告において、2020年6月30日までに、全国各自治体でのパートナーシップ制度申請件数が1052件を数えたことが報告されていること
甲A304	同性婚の法制化に関する議論の促進を求める意見書	写し	R2. 9. 23	京都府長岡京市議会	京都府長岡京市議会において、地方自治法第99条の規定に基づき、国に対して同性婚の法制化に関する議論を促進し早期に結論を示すことを強く求める旨の意見書が決議され、国に提出されたこと
甲A305	「世田谷区、同性パートナーも新型コロナウイルスの傷病手当遺族申請が可能に。国保での新たな一歩」と題する記事	写し	R2. 6. 11	ザ・ハフポスト・ジャパン株式会社	世田谷区が国保の傷病手当金について同性パートナーを配偶者に準じて扱う取り扱いを開始したこと
甲A306	「同性パートナーも事実婚 社会通念であると初見解」と題する記事	写し	R2. 9. 21	株式会社毎日新聞社	世田谷区の職員が、9月17日の区議会定例会一般質問に答えて、「区においては、同性パートナーも事実上の婚姻関係に準ずるとする社会通念が形成されているものと評価している」と答弁したこと
甲A307	大阪市犯罪被害者等助成金交付要綱	写し	R2. 5. 1	大阪市	大阪市において、犯罪被害者等助成金の交付に関し、配偶者には「本市パートナーシップ宣誓書受領証の交付など公的な証明を受けているLGBTなどの性的マイノリティのパートナーである者」も、配偶者と「同視しうる事情にある者」に該当するとし、「助成を受けることができる遺族」に該当するとされたこと(第4条1項(1))
甲A308	札幌市犯罪被害者等支援金及び日常生活等支援に関する要綱(抄)	写し	R2. 7. 28	札幌市	札幌市において、犯罪被害者等の支援金の支給等に関し、犯罪被害者の遺族又は家族には、犯罪被害者とパートナーシップの関係にあった者を含むとされたこと(第3条(1))
甲A309	「同性パートナーにも給付金 札幌市が『犯罪被害者等支援制度』スタート」と題する記事	写し	R2. 9. 21	株式会社毎日新聞社	札幌市における同性パートナーへの犯罪被害者等支援制度の適用にあたり、札幌市の担当者が「被害に遭った苦しみや困難は、同性でも異性でも同じだから」と説明をしていること

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本写しの別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A310	同性間の婚姻を認める法制度の整備を求める会長声明	写し	R1. 10. 17	神奈川県弁護士会	神奈川県弁護士会が、国に対し、同性婚を認める法制度を早急に整備するよう求める旨の会長声明を発出したこと
甲A311	在日米国商工会議所意見書	写し	2020年9月	在日米国商工会議所	在日米国商工会議所による同性間の婚姻の法制化のための意見書の最新版(2021年9月まで有効とされているもの)
甲A312	三井住友銀行ホームページ	写し	R2. 2. 27	株式会社三井住友銀行	三井住友銀行が、同性パートナーに対して、連帯債務型借入を可能とする取扱いを開始したこと
甲A313	アウト・ジャパンホームページ	写し	R2. 7. 22	株式会社アウト・ジャパン	横浜銀行が、同性パートナーについてペアローンや収入合算における配偶者の定義に含める対応を開始したこと
甲A314	令和元年度厚生労働省委託事業 職場におけるダイバーシティ推進事業報告書(抄)	写し	2020年3月	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	経団連や連合が、企業・職場において考えられる施策として、配偶者に適用される福利厚生を同性パートナーにも適用することが考えられると回答していること
甲A315	同上	写し	同上	同上	近時、同性パートナーに慶弔休暇や家族手当を適用している企業が増加していること
甲A316	事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関する雇用管理上講ずべき措置等についての指針(抄)	写	R2. 1. 15	厚生労働省	改正労働施策総合推進法に関する厚労省指針において、性的指向・性自認に関するハラスメントや、性的指向・性自認の望まぬ暴露についても含めたパワハラ防止措置を取るべきことが求められていること(9頁)

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本写しの別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A317	東京地方裁判所令和元年12月12日判決(東京地裁平成27年(行ウ)第667号,同(ワ)第32189号)	写し	R1.12.12	東京地方裁判所民事第36部	経済産業省のトランスジェンダー女性職員による自認する性別のトイレの使用制限の違法性が問題となった事案において、「性別は、社会生活や人間関係における個人の属性の一つとして取り扱われており、個人の人格的な生存と密接かつ不可分のものといえる」と判示されていること(32頁)
甲A318	「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集」と題する調査報告書	写し	2020年3月	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	国内企業等により、性的指向及び性自認を尊重した様々な取組がされていることが報告されていること(16頁以下)
甲A319	「コスタリカ、同性婚を合法化 中米初」と題する記事	写し	R2.5.27	株式会社時事通信社	コスタリカにおいて、2020年5月26日、同性婚が合法化されたこと
甲A320	第2回LGBT当事者意識調査	写し	R2.8.31	ライフネット生命保険株式会社	ライフネット生命保険による宝塚大学日高庸晴教授への委託調査において、LGBT当事者の約6割が同性婚制度を望んでおり、若年層にその傾向がより顕著と報告されていること
甲A321	日高庸晴 意見書	写	R2.9.25	宝塚大学教授 日高庸晴	性的マイノリティを対象とする調査において、若い世代ほどカミングアウトをしており、法律婚を望んでいる、という結果となったこと(4頁)。
甲A322	井上ひとみと瓜本淳子の陳述書	写し	R2.9.30	井上ひとみ, 瓜本淳子	獣医師である井上ひとみと動物看護師である瓜本淳子について、同性愛者であることを自覚した際の戸惑い、お互いの関係、2015年に関西レインボーフェスタで公開結婚式を挙げるに至った経緯、同性婚に対する思い等
甲A323	原告佐藤の妹の陳述書	写し	R2.10.31	(氏名省略)	原告佐藤の家族が原告佐藤及び原告よしの関係性を受け止めていく過程及び同性同士の結婚が認められないことで、同性愛者の家族が受ける影響(不利益や悩み・苦しみ等)や同性婚実現を願う家族の思い並びにその他これらに関する事項

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A324	小林麗子「ある同性愛のケース」ケース研究167号142頁(1978)	写	1978年(s53)	家庭事件研究会出版部	1978年当時、家庭裁判所の調査官や調停委員においても、同性愛を生育史や発達心理上の問題に起因し、克服されるべき状態とする認識が広く持たれていた事実。
甲A325	動くゲイとレズビアンのか「同性愛に対する差別表現～「同性愛」とは人権の問題です～」小学館(1997)	写し	1997年(h9)5月	小学館編集総務部	1997年1月23日に行われた小学館社内のセミナーの記録。 この当時、マンガ・コミック、若者向けラジオ番組に同性愛者等を揶揄・嘲笑する「ホモネタ」があふれていたこと、科学的装いをこらした同性愛の原因論に関する表現や、一般の若者文化の動きを「レズ」等の差別的表現を用いて表す雑誌記事、刑事事件の被疑者・被告人が同性愛者等である場合にことさらに差別的表現や事実の誇張がなされる等、さまざまな形で同性愛者等が異常であることを前提にした表現があふれていた事実。
甲A326	ハインツ・ヘーガー「ピンク・トライアングルの男たち」(現代書館)	写し	1997年(h9)	発行 パンドラ 発売 現代書館	ナチス・ドイツによって強制収容所に送られた同性愛者の手記。ナチス支配下で、同性愛者及び同性愛者等とされた多数の者が強制収容者に送られ、生きのびた場合でも、戦後も同性愛に対する差別が変わらなかったために、ナチス・ドイツによる同性愛者に対する抑圧の歴史が明らかにならなかった事実。
甲A327	クラフトエビング 日本法医学会誌「色情狂編 完」	写	1894年5月17日	クラフト=エビング著・日本法医学会	同性愛等を病理であるとするドイツの精神科医クラフト=エビングの『性的精神病質』(1886年刊)が邦訳されて我が国でも紹介されたこと。
甲A328	呉秀三校閲 石田昇著「新撰精神医学」(南江堂、1906〔明治39〕)	写	M39.10.18	石田昇	明治民法が施行されていた当時、医学上、同性愛等が病気であるとされ、治療の対象となるものとされていたこと(235頁)
甲A329	野上俊夫「児童の情操と教育」(叢文閣、1936)	写	S11.8.20	野上俊夫	明治民法が施行されていた当時、教育上、同性愛等が不純で変態的なものであり、注意すべきものとされていたこと(163頁)

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A330	小南又一郎「法医学綱要」(京都印書館, 1946)	写	S21. 5. 30	小南又一郎	現憲法が制定された頃においても、医学上、同性愛等は病理であり異常なものとされていたこと(82頁～83頁)。
甲A331	日本応用心理学会「心理学講座」	写	S28. 10. 31	日本応用心理学会編	同上(26～30頁)。
甲A332	井村・懸田・島崎・村上編「異常心理学講座 第4巻 異常心理学2」(みすず書房, 1967)	写	1967年	加藤正明	同上
甲A333	加藤正明「異常性欲」(第一部 異常心理学(D)性及び性欲(2) 1955)	写	1955年	加藤正明	同上(19頁以下)
甲A334	大熊文男「同性愛の精神病理」(臨床精神医学6巻1号)	写	1977(昭和52)年1月	大熊文男	現憲法及び現行民法制定後も、医学上、同性愛等は病理であり異常なものであるとの認識が続いていたこと。
甲A335	康純「性別違和と同性愛」(齊藤万比古・市川宏伸・本城秀次編『性別に違和のある子どもたち』合同出版)	写	2017(平成29)年6月20日	康純編	主に医学上の観点から見た日本における同性愛者等が置かれてきた社会的地位及びその変遷等。
甲A336	平田俊明「日本における「同性愛」のstigmatizationの歴史」(精神療法42巻1号)	写	2016(平成28)年2月	平田俊明	主に医学上の観点から見た日本における同性愛者等が置かれてきた社会的地位及びその変遷等。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本写しの別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A337	古川誠「セクシュアリティの変容」(日米女性ジャーナル17号)	写	1994(平成6)年12月	古川誠	明治維新から昭和初期までの間における日本における同性愛者等が置かれてきた社会的地位及びその変遷等。
甲A338	動くゲイとレズビアン研究会『日本精神医学と同性愛(第1版)』	写	1993(平成5)年1月29日	動くゲイとレズビアンの会	動くゲイとレズビアンの会が、日本精神神経学会及び日本精神科診断学会あてに、1993年3月、同性愛についての見解を問う質問状を送付した事実及びその後の両学会への働きかけの経緯等。
甲A339	前川直哉『〈男性同性愛者〉の社会史』(作品社、抄本)	写	2017(平成29)年4月	前川直哉	大正期における日本における同性愛者等が置かれてきた社会的地位等。
甲A340	東京地裁昭和44年2月15日判決(ブルーボーイ事件)(判例タイムズ233号231頁)	写	1969(昭和44)年6月15日	判例タイムズ社	同性愛者を異常性欲の一つとして判示した裁判例において、同性愛等を異常性欲とする当時の医学的知見が証拠とされたこと。
甲A341	小林司「文化論的にみた性のあり方」(熊本悦明編『現代の性(からだの科学臨時増刊)』)	写	1981(昭和56)年10月30日	小林司	同性愛を非病理化した欧米の医学的知見が1980年代頃から日本にも紹介されるようになったこと。
甲A342	宮本忠雄・平山正実「性行動の心理的異常」性対象の異常(熊本悦明編『現代の性(からだの科学臨時増刊)』)	写	1981(昭和56)年10月30日	宮本忠雄・平山正実	同性愛を非病理化した欧米の医学的知見が1980年代頃から日本にも紹介されるようになったこと。
甲A343	針間克己「LGBTと精神医学」(精神科治療学31巻8号)	写	2016(平成28)年8月	針間克己	同性愛等と精神医学のかかわりの歴史等。今日の日本において同性愛等は精神疾患であるとは見做されなくなったとされること。



[リンクはご自由にお貼りください]

[有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください]

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A344	大熊輝雄原著「現代臨床精神医学 改訂第12版」(金原出版)	写	2013(平成25)年3月19日	大熊輝雄 原著「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会	近時改訂された医学書(初版の出版は1980年)にもなお同性愛を異常性欲の一つとするような記述が見られること。
甲A345	坂口菊恵「LGBTの生物学的基盤」精神科治療学31巻8号1003(41)頁	写	2016(平成28)年8月	坂口菊恵	性的指向が自らの意思で変えることは困難とされる医学的、科学的根拠。
甲A346	スーザン・ノーレン・ホークセマ他編『ヒルガードの心理学(第16版)』(抄本)	写	2015(平成27)年9月25日	スーザン・ノーレン・ホークセマ他編, 内田一成 監訳	性的指向が自らの意思で変えることは困難とされる医学的、科学的根拠等。
甲A347	デーヴィット・マイヤーズ著『マイヤーズ心理学』(抄本)	写	2015(平成27)年4月21日	デー ヴィッ ト・マイ ヤーズ 著・村上 郁也訳	性的指向が自らの意思で変えることは困難とされる医学的、科学的根拠等。
甲A348	内野正幸「同性愛をめぐる憲法問題」(法学セミナー388号)	写	1987(昭和62)年4月	内野正幸	1980年代には、わが国憲法研究者が同性愛者の婚姻の問題を紹介する記事において、「ホモ」の語を用いたり、「大多数の者は、ついていけないと感じるであろう」等と述べていた事実。
甲A349	高柳眞三「明治前期における婚姻法の成立」(法律時報14巻1号)	写	1942(昭和17)年1月	高柳眞三	旧民法制定前の明治前期における婚姻の要件等。
甲A350	民法の一部を改正する法律案の議案情報	写	2020年(令和2年)11月(印刷日)	衆議院	同性婚を認めるための民法の一部改正法律案(甲A141)が令和元年6月3日に議員立法として、衆議院に提出され、令和元年6月25日に法務委員会に付託されていること。

【リンクはご自由にお貼りください】

【有償配布 及び Web(ホームページ、ブログ、facebook等)へのアップロードや転載はおやめください】

・「結婚の自由をすべての人に」東京訴訟(東京地裁)で提出された書面です。

号証	標目	原本 写し の別	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲A35 1-1	「岐阜県職員、『同性愛は異常』に賛同ツイート」と題する記事	写し	2015年 (h27)12月2日	朝日新聞 デジタル	海老名市議が同性愛について「異常動物」等とツイートして批判されたことについて、岐阜県の職員が「同性愛は異常でしょ」との市議に賛同するツイートをした事実。
甲A35 1-2	「『同性愛は異常』自民岐阜県議、本会議でやじ」と題する記事	写	2015年 (h27)12月10日	朝日新聞 デジタル	岐阜県議会において、甲A351の1県職員の差別的ツイートが問題とされた際に、元県議会議長の議員が「同性愛は異常」とやじをとばした事実。
甲A35 1-3	須貝議員、同性愛「好ましくない」山形市議会総務常任委で発言 (ヤフーニュース記事)	写	2015年 (h27)12月13日	ヤフー ニュース	山形市議会総務常任委員会において、須貝議員が、性的マイノリティーについて「生物学的にはあまり好ましくない」と発言したこと。
甲A35 1-4	海老名市議 「同性愛者は異常動物」のツイッター (毎日新聞の記事)	写	2015年 (h27)11月29日	毎日新聞	海老名市議が同性愛について「異常動物」等とツイートして批判されたあと、酔った中で、思いつきで、ちょっとやってしまったと弁明していること。